

## 環境変化への対応

### 1 物価・エネルギー価格の高騰、価格転嫁対策

物価、エネルギー価格高騰の影響を受ける中小企業・小規模事業者の収益確保に向けた経営支援強化を図り、地域経済の源泉である地域企業の事業継続と雇用維持支援を行います。

### 2 人手不足への対応、デジタル化・DX推進、多様な人材の活躍推進

社会環境変化に伴い人手不足が深刻化する各業界、地域企業における労働力確保を推進するとともに、各企業における役員・従業員のスキル向上、リスクイングのほか、デジタル化・DX推進等による生産性向上に向けた支援を行います。

仙台商工会議所メニュー活用事例①[商工会議所主催各種セミナー]

インプットだけではなく受講後のアウトプットも促進することで、従業員同士で高め合うことができました。

しもむら さとる

(株)クラウドスミス 代表取締役 下村 暁 氏



[事業内容]

中小企業を対象に、情報システムの企画、導入から運用までを一貫して請け負うシステムインテグレーション事業と、東北および関東圏の企業を中心としたシステム開発プロジェクトに参画するITソリューション事業を展開。

商工会議所が主催するセミナーは、開催テーマが私たちの求める内容とマッチしたものが多く、さらに会員料金で受講できるので、よく活用しています。弊社の業種柄、外部の方と対面でやりとりをする機会が少ない従業員が多いことから、講師や他の参加者の方とコミュニケーションを取る機会を設けることが、参加目的の一つでもあります。また今回、弊社の従業員が受講した「仕事の段取り力」養成講座のように、社内業務だけでは十分に得ることのできない知識やスキルを習得するためにも活用しています。

セミナー活用のメリットは、会社を出て学びの環境に身を置くと新鮮に受け止められるのか、吸収できるものの量が多いという点だと思っています。例えば、社内で「報・連・相」の大切さを実感してもらおうとしても、なかなかうまくい

かないのが現状です。そのため弊社では、受講した従業員がセミナーで学んだことをレポートにまとめて他の社員と内容を共有することで、社内全体でノウハウ等の偏りをなくせるようにしています。

今後は、プライバシーマークやISO9001の認定を受ける企業としてはもちろん、昨年末にSDGs宣言を行ったことから、人材育成や健康経営などにも力を入れていこうと考えています。引き続き、各業務の担当従業員が学ぶことができるセミナーに参加し、インプットとアウトプットを促進することで、人的資源の強化を図っていきます。それと同時に、多くのセミナーを受講してもらうことで、会社として従業員の成長に期待し、キャリアアップのためのサポートをしているということも伝えていきたいと思っています。

[受講者の声] 参加したセミナー:新入社員講習会、新入社員フォローアップセミナー、「仕事の段取り力」養成講座

講師や異業種の方と関わることで刺激を受け、新たな発見にもつながりました。

あおき りん

プログラマー 青木 凜 氏



新入社員講習会では、ビジネスマナーを中心に、グループワークなどを通じて入社後に必要なことを学びました。社会人としての準備がほぼゼロの状態だったため、受講したことで安心感をもってスタートを切ることができました。その半年後に受講したフォローアップセミナーでも、これまでの仕事への向き合い方などについての振り返りができたので良かったです。また、直近で受講した仕事の段取り力養成講座では、参加者同士でのグループディスカッションを通じて、私よりもキャリアを積んでいる異業種の方が抱える課題を直接聞くことができました。普段、社外の方と話す機会が

少ないため、こうした場でコミュニケーションが取れたことはとても良い経験になりましたし、そこで共有された課題を自分事としてとらえることで、新たな発見もできました。

私の職種はプログラマーという専門職なので、仕事全般に関わるタスク管理について学ぶ機会を得られたことは、良い刺激になりましたし、ありがたかったです。これからは、後輩と接する機会が多くなる可能性もあるので、お互いに気持ち良く、効率良く仕事をできるようにするための心構えや、コミュニケーションの取り方についてのヒントなどがもらえるような講座があれば、ぜひ受けてみたいと思います。

## 特集

# 仙台商工会議所 2023年度 事業計画

～地域経済の好循環に向けた変革を～

## 2023年度の事業実施にあたって(重点項目)

当所「第5期中期ビジョン(2022-2026年度)」の2年目にあたる本年度は、物価・エネルギー価格の高騰や人手不足など、多くの地域中小企業にとって、引き続き厳しい経営のかじ取りを余儀なくされると考えられます。

一方で、年間を通じた祭り・イベントの開催や、仙台空港における国際線の再開などを回復の足がかりとしながら、東北学院大学五橋キャンパスの開校、次世代放射光施設「ナノテラス」の稼働などの効果を多方面に波及させ、多くの方から選ばれる都市・仙台的発展につなげていくために、地域一体となった取り組みを進めていく必要があります。

このような状況の中、本年度は以下に示す事業を重点的に実施することで、自己変革に積極果敢に挑戦する地域中小企業を全力で支援するとともに、多くの人々による多様な活動が街の活気とにぎわいを生み出すような魅力あふれる仙台的まちづくりを推進していきます。

## 重点項目

### 1 事業承継の推進、創業支援

地域経済の持続的成長のため、経営者の高齢化や後継者不足に起因する事業承継問題に真正面から取り組むとともに、地域に新たな価値や雇用を生み出す創業者支援を強化します。

- ①円滑な事業承継に向けた、税理士等と連携した財務状況等の見える化・企業価値診断の実施や承継への取組支援
- ②事業承継・引継ぎ補助金等の制度を活用した後継者の新たな取組支援
- ③日本政策金融公庫等と連携した創業者・第三者とのマッチング支援
- ④地域の課題解決に寄与するスタートアップ企業の創出支援
- ⑤創業希望者への創業計画策定・資金調達等の支援と、創業後の持続的発展に向けた伴走支援
- ⑥当所独自の「創業応援助成金」や「創業祝い花」による創業者支援



### 2 中心市街地活性化、伝統文化の継承・発展

中心部各エリアの再開発や東北学院大学五橋キャンパス開校、市内各商店街の活性化によるにぎわい創出など個性あふれるまちづくりに向けた積極的な関与を進めるとともに、仙台的商文化に根ざした伝統文化の継承・発展に向けた方策を導き出し、その具現化を図ります。

- ①中心部の実態を把握するための消費者や個店等に対する各種調査の実施と、そのデータを活用した戦略的なマーケティング施策の検討および支援策の実施
- ②スマートフォンアプリ「仙台まちいこ」を活用した街の回遊性向上とデジタル実装促進
- ③「仙台七夕まつり」「仙台初売り」等のあり方検討、伝統の継承



### 3 インバウンド再開を契機とした交流人口・関係人口の拡大

MICE推進や回遊都市を目指すうえで重要な青葉山エリアの一体的な整備と魅力づくりを進めるとともに、コロナ禍からの回復に向けて交流人口、インバウンド拡大を図るべく各種事業を実施します。さらに、次世代放射光施設「ナノテラス」の稼働を契機とした研究者や企業関係者などを含めた関係人口の拡大に努め、さまざまな分野における街への一層の波及を目指します。

- ①「第40回全国都市緑化仙台フェア」(4/26～6/18)、「G7仙台科学技術大臣会合」(5/12～14)の開催を契機としたシティプロモーション強化
- ②国際線の再開にあわせてイン・アウトバウンド双方向での交流促進
- ③インバウンドを街の活性化、個店の集客につなげるための取り組みの実施



### 3 消費税インボイス制度・改正電子帳簿保存法への対応

税務・経理面での対応が必要となるインボイス制度（2023年10月）、改正電子帳簿保存法（猶予期限2023年末まで）への対応支援を行います。

仙台商工会議所メニュー活用事例②[インボイス制度への対応支援]

相談することでインボイス制度の全体像を理解でき、やらなければならないことに早めに着手できました。

たねざわ かずひこ

due(ドゥエ) 代表 種澤 和彦 氏



[事業内容]

ハンドメイドジュエリーを制作し、実店舗およびECサイトでの販売を行っている。外部の作家の作品も取り扱うことでバリエーションを広げており、手持ちのジュエリーを新しいアイテムやデザインに作り変えるリフォームも好評を得ている。

2017年に仙台商工会議所の会員になって以来、事業資金の調達や、新しいことに着手しようとするときに活用できる補助金など、さまざまなアドバイスをいただけてきました。いつも相談にのっていただいていることから、経営に関してわからないことが浮上すると、まずは商工会議所に連絡して、いろいろアドバイスを受けるという流れができあがっているととても良いかも知れません。

今回、相談したインボイス制度に関しても、初めてこの言葉を聞いたとき、「うちは輸出をしていないから関係ないだろう」と思ったくらい、何の知識もありませんでした。メディアで取り上げられるようになって、周囲から聞こえてくるのは「インボイス制度って、どうやら大変らしいよ」という声ばかりでした。弊社は、私と妻の2人で切り盛りする会社なので、もし関係する事柄であれば、早めに取り組みする必要があります。そこで、「どのタイミングで、何をすれば良いのか」といったことをはっきり知りたいと考え、2022年の春ごろに、いつも相談をしている商工会議所の担当支援員の方に連絡しました。

商工会議所でインボイス制度の説明を受けて、制度の全体像を理解することができました。その後、不明点を質問し、それに答えてもらいながら疑問を一つずつ解消していくことで、弊社が対応しなければならない事柄や、その時期を明確にすることができました。一通り理解できたタイミングで、弊社は、インボイス発行事業者になることが必要だと思いましたので、税務署に適格請求書発行事業者の登録申請をして、登録番号の通知を受けました。

次に行おうと考えているのは取引先各社への対応です。現在、弊社の取引先はフリーランスのジュエリー作家さんをはじめ、石留めなどを行ってくださる職人さんなど、さまざまな形態で仕事をしている方々が大半ですので、まずは個別に状況を確認していきたいと考えています。また、改正電子帳簿保存法への対応についても、アドバイスをもらいながら進めていこうと考えているところです。

インボイス制度に関しては、税務署でも相談に応じてくれると思いますが、弊社が商工会議所にアドバイスを受けようと思ったのは、私たちの仕事内容や、2人で切り盛りしている店であることなどを把握されているので、経営状況を改めて説明する必要がない分、気軽に相談でき、ストレスがない相手だと思っているからです。言葉を選ばずに言いますと、弊社にとって商工会議所は、信用できるコストパフォーマンスの高い相談相手と言える存在です。今はインターネットで何でもすぐに調べられますが、必要な情報にたどり着くまでにどうしても時間がかかったり、苦労して見つけた情報でも正しいと限らなかつたりということも考えられるので、商工会議所に基本を教えてもらうとともに、自分の疑問にも答えてもらうのが、欲しい情報に最短でたどり着ける方法だと実感しています。弊社は小さな店なので、締め切り間際で必要な書類を作成しなければならないといった事態に陥ると、本業に支障が出る可能性があります。弊社と同じように人数が少なく、相談に行く時間の余裕がないという事業所の方ほど、支援事例を多くもつ商工会議所に相談することをお勧めしたいですね。

### 4 カーボンニュートラル・脱炭素、SDGs、BCP策定推進

2050年カーボンニュートラル実現に向けた脱炭素経営の促進や、SDGsを意識した経営への取り組みを支援するとともに、省エネによるコスト削減、製品・サービスの競争力向上等につなげていきます。BCP策定による自然災害や感染症等のリスクに対する事業継続力強化を図ります。

仙台商工会議所では、会員事業所の自己変革を後押しするために、本年度も経営支援をはじめとした各種事業を展開していきます。

2023年度  
事業計画詳細▶

